

# 事業報告書

報告日：令和3年1月14日

ジェンダーを考える教室 in 沖縄国際大学	
日時	2021/1/7 (木) 10:40~12:10
対象	沖縄国際大学 経済学部 地域環境政策学科 基礎演習
講師	沖縄キリスト教学院大学 人文学部長 新垣 誠 氏
主催	沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団
会場	沖縄国際大学新3号館 305号室
参加者数	18名 (男性12名 女性6名)
開催目的	ジェンダーの内容、特徴を学ぶ機会を提供し、ジェンダーを通して「沖縄」について考えてもらい、将来自らが社会に出たときのための自覚や意識を持ってもらうことを目的とする。また、身近な相談先として沖縄県男女共同センター「ているる」を紹介することを通して、男女共同参画社会の推進に寄与することを目的とする。
講演内容 (概要)	<p>◆ジェンダーを「国際社会」と「家庭の中の話」の2つの視点から SDGsのゴールは17項目あり、5項目の「ジェンダー平等を実現しよう」は世界規模の課題。日本は、世界経済フォーラムによる「ジェンダーギャップ指数」が153か国中121位であることを説明。「ジェンダー」とは生まれた時の性別ではなく、社会によってつくられたものであり、社会が「男・女こうあるべき」と決めることが「ジェンダー規範」で多くの人を苦しめている。「後出しジャンケン」で規範を体験。頭でわかっているけど身体が動かないことや、この規範に縛られて生きている。規範は差別であり、自由にならないといけない。</p> <p>◆多様性を前提にみんなが暮らしやすいまちをつくっていく ジェンダー平等とは、性の多様性であり、人の数だけある。ジェンダー平等に対する考えの違いについて解説。</p> <p>◆マイノリティの視点を持つこと 自分よりも力が弱いものに対して、「支配」と「コントロール」をもって相手を制しようと思うのではなく、愛をもって接することを学べる機会が、「介護・育児・動物愛護」である。虐待・暴力ではなく、ケアをおこなうことで非暴力を身につけていこう。</p>
	  
参加者の声 (抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ジェンダーとは性別の問題ではなく意識や視点の問題なんだなと気づけた。</li> <li>• 言われたとおり、男と女にはイメージを決めつけている感じがした。</li> <li>• とても分かりやすく、おもしろく講座してくれたおかげでジェンダーについて興味をもてました！ありがとうございました！！</li> <li>• 普段過ごしていて、気付かない様々な場面で差別が起こっていることがわかりました。自分自身でも無意識に差別していることがあるかもしれないので気を付けていこうと思います。</li> <li>• 自分も無意識のうちに性を区別していたことを再確認できました。私も個人として性別関わらず、様々なことに挑戦したいです。</li> </ul>
主催者等	沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団